

INSTITUTE OF SOCIOLOGICAL RESEARCH DAITO BUNKA UNIVERSITY  
大東文化大学社会学研究所所報

No. 3 2022年3月

目 次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 所長巻頭言 所長 中野 紀和    | 1  |
| 2021年度社会学研究所活動報告  | 2  |
| マンガ・ビジュアル研究会 活動報告 | 3  |
| 研究員の活動報告          | 4  |
| 研究所寄贈本            | 11 |
| 研究員紹介             | 12 |

## 3年目を終えて

社会学研究所所長 中野紀和

社会学研究所が開設して3年目を終えた。社会学部がスタートして1年後の開設であったため、学部では一期生が卒業を迎える。学部の教職員全員で一期生を送り出すことを心待ちにしていたが、残念ながらそれは叶わなくなった。社会学部の準備段階から関わり、初代社会学部学部長を務め、さらに社会学科主任の職にあった馬場靖雄先生が昨年4月に急逝された。あまりに突然のことで、1年が経とうとしている今も、ぽっかりと開いた穴は未だに埋めることができない。何よりも、一期生の門出を見ることのできない馬場先生ご自身が無念に違いない。

馬場先生は、社会学研究所のマンガ・ビジュアル研究会（マンビ研）でも積極的に活動されていた。社会学の分野においては、理論家として第一線で活躍されていたことは皆知るところであるが、アニメや漫画にも精通されていたことはそれほど知られていないかもしれない。学部長や学科主任という重責のなかにあっても、このマンビ研の活動には積極的に参加されていたようである。

東松山キャンパスで偶然お会いした時のこと、挨拶もそこそこに「今からマンビ研なので…」と足早に教室に向かわれた。好きなものを、同じ関心をもつメンバーと、存分に議論することのできる場を共有できたことの嬉しさが、軽い足取りに表れていたように思う。日々の激務のなかであって、研究所の活動のなか、馬場先生にとってそのような場があったことは今となってはせめてもの救いである。あらためて、社会学部、社会学研究所へのこれまでの多大な貢献に深く感謝申し上げたい。今回の『社会学研究所紀要』3号に、研究者としての馬場先生に敬意を表し、略歴と業績一覧を掲載させていただいた。ぜひご覧いただきたい。

2021年度も前年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された1年であったが、運営委員をはじめ研究員の方々のご協力によって、ゲストスピーカーによる2回のオンライン研究会を開催することができた。障害者とヤングケアラーを取り上げた内容は、参加した学生からも多くの質問や感想が寄せられた。対面での研究会であったならば、より一層活発な議論の場となったことだろう。次年度こそは、2年前と同じような活動の場が持てることを祈るばかりである。

## 2021年度 社会学研究所活動報告

### 運営委員会

- 2021年4月15日 第1回運営委員会（対面・zoom開催）
- 6月4日 第2回運営委員会（zoom開催）
- 7月15日 第3回運営委員会（zoom開催）
- 7月29日 研究会のゲストスピーカーとの打合せ（zoom開催）
- 10月13日 第4回運営委員会（zoom開催）
- 2022年2月6日 第5回運営委員会（メール会議）

### 研究会

- 2021年7月29日 13時30分～16時30分（zoom開催）
- ゲストスピーカー：埜幸枝氏（成城大学文芸学部専任講師）
- テーマ：「障害者と笑いー「笑えない」ことから考える現代社会ー」

- 2021年10月7日 15時30分～18時30分（zoom開催）
- ゲストスピーカー：岩井信行氏（NHK おはよう日本ディレクター）
- テーマ：「ヤングケアラー『17人に1人』の衝撃ー現場取材から見えた課題ー」

### 研究部会

- 2021年5月13日 第1回研究部会（zoom）
- 2021年9月17日 第2回研究部会（zoom）
- 2022年2月8日 第3回研究部会（zoom）

### 刊行物

- 2022年3月 『社会学研究所紀要』（第3号）、『社会学研究所所報』（No.3）発行

## 2021年（1月—12月）のマンガ・ビジュアル研究会 活動報告

### <研究会 zoom ミーティング>

- ・2021年3月19日（金）10：30-12：00
  1. 今年度の活動と次年度の活動について
  2. 「鬼滅学」講座について
- ・2021年4月16日（金）11：00-12：00
  1. 「鬼滅学」講座 担当内容確認
- ・2021年5月14日（金）11:00-12：00
  1. 「鬼滅学」講座打ち合わせ
- ・その他メールミーティング

### <その他>

- ・「鬼滅学」講座開催 板橋校舎 申込者21名 大東新聞取材あり
  1. 2021年6月12日（土）
    - 井島由佳：『鬼滅の刃』に学ぶ折れない心-レジリエンス-
    - 近藤和都：『宇宙戦艦ヤマト』から『鬼滅の刃』へのメディア史
  2. 2021年6月26日（土）
    - 野嶋 剛：『鬼滅の刃』現象を日本のジャーナリズムはどう伝えたか
    - スチュワート・ロナルド・ジェフリー 『鬼滅の刃』の海外受容と翻訳による変化
  3. 2021年7月10日（土）
    - 須川亜紀子（横浜国立大学大学）：ジェンダーの視点からみる『鬼滅の刃』（Zoom）
    - 周東美材：アニメソングの歴史と『鬼滅の刃』

### ■マンガ・ビジュアル研究会メンバー（敬称略）

スチュワート・ロナルド・ジェフリー、野嶋 剛、周東美材、近藤和都、井島由佳

# 研究員の活動報告

阿部 英之助

## 【論文】

阿部英之助「新型コロナパンデミック下の大学と教育実践の苦悩」『民主教育研究所年報』第21号, pp.109-118, 2021.

## 【活動報告】

藤島歴史公園「Hisu 花」活用ワークショップ ファシリテーター (5月28日、7月29日・9月15日・オンライン参加) (山形県鶴岡市)

全国国立大学附属学校連盟「東海地区研究協議会・実践活動協議会」・助言者 (2021年8月20日・オンライン参加)

チャレンジ・オープンガバナンス！！2020「デマンド型タクシーを活用した高齢者にしい地域公共交通体制の構築」

(2021年2月28日・オンライン報告) 大東文化大学社会学部阿部ゼミ 地域公共交通チーム

## 【その他】

阿部英之助, 「高校普通科のキャリア教育はいかにして可能か」, 『民研だより』, No.149, pp.3-4, 2021年9月10日

小野田 竜一

## 【日本語論文 (査読あり)】

舘石和香葉・小野田竜一・高橋伸幸「罰行使の動機推定が評判に与える影響: 複数の罰選択肢を用いた検討」『社会心理学研究』, 第36巻3号, pp. 96-103, 2021.

## 【学会発表】

稲葉美里・小野田竜一・高橋伸幸「社会的交換における報酬の遅延のシグナル」日本グループ・ダイナミックス学会第67回大会 (帝塚山大学) 2021年9月11日

## 【話題提供】

小野田竜一「一般交換の新たな成立メカニズム: 所属集団に関する情報の利用」まちとモビリティの研究会 (名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・一般財団法人計量計画研究所) 2021年8月24日.

## 香川 めい

### 【日本語雑誌論文】

森山智彦・香川めい・多喜弘文・尾嶋文章「若年期における無業への／無業からの移行と高学歴化：21世紀成年人者縦断調査を用いて」『理論と方法』35巻2号, pp.243-259, 2021

### 【和書・分担執筆】

香川めい「若年期のライフコースの多様化はどう生じたか——男女差からみえる変化と不変」中村高康・三輪哲・石田浩編『少子高齢社会の階層構造1 人生初期の階層構造』勁草書房, pp.257-272, 2021

### 【学会発表】

香川めい「海外での就業経験とキャリア形成」日本教育社会学会第73回大会（関西学院大学（オンライン））2021年9月11日.

### 【シンポジウム報告】

香川めい「調査項目の作成プロセス」公開シンポジウム「人文社会科学系大学教育を吟味する～分野別習得度の調査結果に基づいて～」東京大学大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センター関連プロジェクト（オンライン開催）2021年9月15日.

## 上地 宏一

### 【学会発表（特別講演）】

上地宏一「グリフウィキを総覧する」シンポジウム「字体資料共有の現在と未来」（国立国語研究所）2021年3月20日

### 【学会発表】

上地宏一「グリフウィキと花園フォントの現状」漢字文献情報処理研究会第23回大会（オンライン）2021年3月13日

### 【講義】

北京外国語大学中文学部（香坂班）日本人講義「情報学概論」2021年11月16日～12月3日（集中講義）

【日本語論文】

近藤和都「Netflixをメディア論する——動画サブスクリプションをめぐる問題の所在」『大東文化大学社会学研究所紀要』(2), pp.33-46, 2021.

近藤和都「レンタルビデオ店とデータベース——雑誌『ビデオでーた』を介した大規模店舗の利用実践」『メディウム』(2), pp.42-66, 2021. (査読有)

【共編著】

近藤和都・森田典子・大塚英志編『牧野守 在野の映画学——戦時下・戦後映画人との対話』太田出版, 2021. (近藤和都・鈴木麻記・森田のり子「牧野守の資料論——収集・研究・育成をめぐる」 pp.5-27, 近藤和都「標準の媒介者——カメラマンの読書空間」 pp.123-133.)

梅田拓也・近藤和都・新倉貴仁編『技術と文化のメディア論』ナカニシヤ出版, 2021. (梅田拓也・近藤和都・新倉貴仁「はじめに」 pp.i-v, 近藤和都「フィルム、テレビジョン、ストーリーミング——映像インフラストラクチャーの比較史」 pp.153-168, 梅田拓也・近藤和都・新倉貴仁「ブックリスト」 pp.255-263.)

【分担執筆】

近藤和都「プラットフォームと選択——レンタルビデオ店の歴史社会学」伊藤守編『ポストメディア・セオリーズ——メディア研究の新展開』ミネルヴァ書房, pp.326-349, 2021.

近藤和都「『機動戦士ガンダム』と(再)放送の文化史」大塚英志編『運動としての大衆文化——協働・ファン・文化工作』水声社, pp.322-349, 2021.

近藤和都「「ヤマト」から「ガンダム」へのメディア史——「記憶すべきもの」と「記憶する人々」」荒木浩・前川詩織・木場貴俊編『〈キャラクター〉の大衆文化——伝承・芸能・世界』KADOKAWA, pp.301-324, 2021.

【受賞】

第8回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞 (近藤和都『映画館と観客のメディア論——戦前期日本の「映画を読む／書く」という経験』(青弓社、2020年)に対して), 2021年6月

【その他原稿】

近藤和都「アクシデントとインフラストラクチャー」『映像学』(106), pp.8-17, 2021.

【取材協力】

「文化の担い手 名画座、ミニシアター」『東京大学新聞』(4065), pp.16-17, 2021.

### 【書評会への応答】

日本映像学会第48回映画文献資料研究会「受容から考える映画史——近藤和都著『映画館と観客のメディア論』書評会」(於オンライン), 2021年3月28日

## 周東 美材

### 【日本語論文】

周東美材「ロック・中国・学校唱歌——瞳みのるは近代国家といかに対峙したか」遠藤薫編著『学習院大学東洋文化研究叢書 戦中・戦後日本の〈国家意識〉とアジア——常民の視座から』勁草書房, pp.167-190, 2021年(査読有).

周東美材「茶の間に鳴り響くジャズ——1960年代における渡辺プロダクションの展開」『大東文化大学社会学研究所紀要』第2号, pp.47-60, 2021.

周東美材「「かわいらしさ」の上演——鷺津名都江に聞く「私が小嶋くるみだったころ」」『東京音楽大学研究紀要』第44集, pp.79-97, 2021.

### 【学会・シンポジウム報告等】

東谷護・周東美材・大山昌彦・葛西周・山田晴通, 公開ワークショップ「高度消費社会におけるヴァナキュラー文化の生成は可能か」(成城大学), 2021年8月30日.

## スチュワート・ロナルド

### 【論文】

Stewart, R., “Unlocking Verbal-Visual Puns in Late-Nineteenth-Century Japanese Cartoons”, in Derrin, D. and Burrows, H. (eds) *The Palgrave Handbook of Humour, History, and Methodology* (Palgrave Macmillan (Springer)), pp.361–381, 2021.

### 【その他】

(追悼文)

Stewart, R. “Obituary & Remembrance of Manga Historian Shimizu Isao”, *International Journal of Comic Art (IJOCA)*, Vol.23 No.1 (Spring/Summer), pp.513–519, 2021.

(追悼文)

スチュワート R 「追悼・清水勲」『アイマスク』第62号, pp. 42–43, 2021.

## 塚本 正文

### 【論文】

塚本正文「観光地と地方税収に関する研究―別荘の多い市町村の固定資産税収について―」『社会学研究所紀要』,第2号,pp.61-75,2021.

塚本正文「観箱根町の観光政策と入湯税収に関する研究」『環境創造』第27号,pp.1-15,2021.

塚本正文「入湯税収による観光客や住民への行政サービスについて」『教職課程センター紀要』,第6号,pp.93-98,2021.

## 鶴田 隆史

### 【共著】

鶴田佳史「第1章 環境経営 ～環境経営の歴史 リスクからオポチュニティへ～」野村佐智代・山田雅俊・佐久間信夫編『現代環境経営要論』創成社, pp.2-20, 2021.

### 【講演等】

令和2年度環境カウンセラー研修「ESG 金融について」オンライン配信, 20210227.

eco 検定アワード2021表彰式「受賞者講評」丸ビルホール&コンファレンススクエア Room4, 20211126.

エコアクション21 2021年度審査員力量向上研修会「ESG 投資とその展開」オンライン配信, 20211218.

## 中野 紀和

### 【書籍】

(共編著) 中野紀和「イエの維持とムラの存続」中込睦子・中野紀和・中野泰編著

『現代家族のリアル―モデルなき時代の選択肢』ミネルヴァ書房, pp.148-166. 2021.

(共編著) 中野紀和(コラム)「見えないものが顕れる災厄」中込睦子・中野紀和・中野泰編著

『現代家族のリアル―モデルなき時代の選択肢』ミネルヴァ書房, pp.186-187, 2021.

### 【その他】

中野紀和「区切りのない時間のなかで：コロナ禍からみえる地域事情」現在学研究会『現在学研究』第8号, pp.1-13, 2021.

### 【学会発表】

Kiwa Nakano, 'How Do Residents Continue to Live in Areas Affected by Disaster, Aging and Depopulation? The Case of Kotaki and the Nagano Earthquake of March 12, 2011,' European Association for Japanese Studies, August 28, 2021, International Conference 2021, (online/zoom)



【日本語論文】

野嶋剛「厳しさを増す台湾の安全保障環境 周到準備と先手でコロナ阻止 民進党の長期政権が視野に」『東亜』, 5月号, pp. 78-85, 2021.

野嶋剛「異見唱えられぬ『無声』の香港へ」『新聞研究』, 10月号, pp46-49, 2021.

【和書（単著）】

野嶋剛『蒋介石を救った帝国軍人 台湾軍事顧問団・白団の真相』, ちくま文庫, 2021.

【和書（共著）】

「台湾：SARSの教訓を生かした先手の対応と官民の一体感ある対策で感染拡大を抑制」  
寺崎仁監修『医療白書2021年度版 日本のコロナ対応「混乱の本質」——真の制度改革・医療強靱化を実現せよ！——』ヘルスケア総合政策研究所, 2021.

【講演・講義】

全国日台友好議員協議会定期総会講演「なぜ台湾は新型コロナウイルスを防げたのか」  
4月19日

早稲田大学エクステンションセンターオンライン連続公開講座『大国・中国を理解する鍵—台湾と香港を考える』5~6月

名古屋・栄中日文化センター連続公開講座「台湾・香港と中国」10~12月

【その他（メディア出演）】

BS11「報道ライブ インサイドOUT」出演 5月11日

台湾テレビ「年代向錢看」出演 6月18日

BS11「報道ライブ インサイドOUT」出演 8月23日

台湾中央廣播ラジオ「這樣看中國」出演 9月4日

BS11「報道ライブ インサイドOUT」出演 10月11日

台湾公共テレビ「主題之夜 SHOW」出演 10月29日

ラジオ NIKKEI『21世紀の台湾と日本~2021日本台湾友情年~』出演 11月22日

文化放送ラジオ「斉藤一美 ニュースワイドSAKIDORI!」出演 11月26日

BS テレ東「日経ニュースプラス9」出演 12月10日

AbemaTV「アベマプライム」出演 12月11日

【和書】

日本建築学会編『空間五感：世界の建築・都市デザイン』井上書院，2021年3月(分担執筆).

【学会発表】

飯塚裕介「浸水想定区域内の住民の防災意識に関するアンケート調査」2021年度日本建築学会  
大会学術講演会(オンライン)，2021年9月10日.

【講演】

飯塚裕介「支え合いの仕組みづくり」『第1回 水害避難に備えて支え合いを進める講習会』主  
催：SDGs まちの学校高島平，会場：新河岸二丁目団地自治会集会所，2021年6月19日.

飯塚裕介「防災セミナー：高島平地域における住民の防災意識～防災意識の実態と防災意識を  
規定する要因の分析～」『高島平を考えるまちの研究報告会』主催：板橋区・アーバンデ  
ザインセンター高島平，会場：高島平地域センター及びオンライン，2021年7月7日.

飯塚裕介「中小企業の防災・減災対策」『地域とつながり、SDGs をビジネスに活かすには』主  
催：NPO 法人いたばし CB プラットフォーム，後援：板橋区，会場：板橋区立グリーン  
ホール，2021年12月9日.

【コラム】

飯塚裕介「飯塚裕介の時空分析コラム：高島平団地におけるの“赤ちょうちん”と“カフェ”の時  
空分布」『高島平学：高島平を思考する地の知』，第7号，pp.22-23，2021年11月.

|   | 寄贈本   | 寄贈者  |
|---|---|------|
| 1 | 井島由佳<br>『「呪術廻戦」流 自分を変える最強の方法』<br>アスコム 2021年 | 井島由佳 |

## 研究員紹介

所 長 中野紀和  
部 会 長 鶴田佳史  
専任研究員 阿部英之助 井島由佳 植野一芳 小野田竜一 香川めい 川野幸男  
上地宏一 小湊浩二 近藤和都 周東美材 塚本正文  
スチュワート・ロナルド・ジェフリー 鶴田佳史 中野紀和 野嶋 剛  
飯塚裕介 八木原大 山口みどり

大東文化大学社会学研究所所報 No.3

2022年3月31日発行

編集発行・印刷 ©大東文化大学社会学研究所

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

Tel:(03)5399-7394